

令和4年12月7日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

**認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らしていくために
見守り声かけ実践講座を開催しました**

認知症への知識・理解を深めるとともに、認知症の方への対応（声掛け）を体験することにより、地域で見守ることについて身近に考え、地域の見守り体制の構築へつなげることを目的として見守り声かけ実践講座を開催しました。

当日は、26人が参加し、認知症サポーター養成講座で認知症への理解を深めた後、声掛けの体験をしました。認知症役のスタッフを集会所内及び公園に配置し、6～7人でグループを組んだ参加者が声を掛ける形式で行いました。場面は全部で4場面設け、ちぐはぐな服装（上衣はパジャマ、下衣はジーンズを着用）でベンチに座っている場面やマンションにある自宅を間違えて別の部屋に入り込んでしまった場面など、それぞれ異なる内容とし、4つのグループが順に回り、すべての場면을体験しました。

参加した方からは「声を掛ける勇気が持てた」「声掛けのタイミングの難しさを感じた」「実際に出会ったときには今日の体験を活かして声掛けしたい」などの声がありました。

概要

日時 11月20日 午前9時～午後0時30分

場所 栄町8区自治会集会所及び栄町公園

内容 認知症サポーター養成講座、声掛け実践、振り返り、全体発表

主催 吉川市

共催 栄町8区自治会

協力 グループホームなごみ、グループホームみんなの家・吉川、認知症対応型通所介護ふくしあの家、社会福祉協議会、地域包括支援センター

主管 見守り声かけ実践講座実行委員会



認知症サポーター養成講座の様子



ちぐはぐな服装でベンチに座っている人に対する声掛け体験



買い物でお金の精算ができない人に対する声掛け体験



振り返りの様子

この件に関するお問合せ先

- お問合せ：こども福祉部 地域福祉課 ☎048・982・9548

記事提供：政策室 広聴広報担当 ☎048・982・5112